



はじめてのピアノチャレ

ピ ア ノ チ ャ レ ン ジ

セミナー情報

音楽之友社全体のセミナー開催情報です



好評既刊 / 「ピアノチャレ」の指導書としてもおススメ!



ベストセラー既刊書籍『練習しない子のためのピアノレッスン』から生まれた

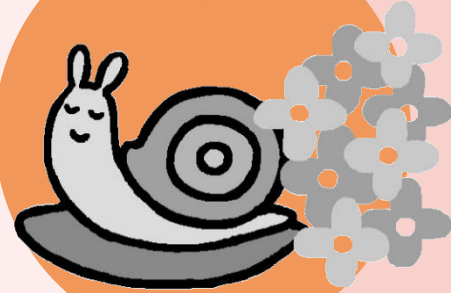
いま 現在のレッスン現場で必要とされる ピアノ導入教材

ジングルベル
なべなべそこぬけ
チューリップ
もういいかい まあだだよ
メリーさんのひつじ
かえるのがっしょう
かごめかごめ



ぶんぶんぶん
おてらのおしょうさん
こいぬのマーチ
きらきらぼし
ロンドンぼし
ちょうちょう
かっこう
ひらいたひらいた

解説動画



著者ホームページ

Mime Yamamoto website
山本美芽

こんな生徒さん、いませんか!?

- 練習しない
- 教本が進まない
- レッスンに嫌々来る
- お家の方が忙しい

今のお子さんとはとにかく忙しい! でもピアノはできるだけ続けて、音楽が好きなお子さんに育ててほしい! そんなお考えの先生におすすめの教材です。

レッスンを思うように進まない生徒さんも、知っている曲を使って少しずつ進むので「できた!」を積み上げてピアノを弾く喜びを実感できます。

全国のピアノの先生方の「お悩みを解決する」ピアノ導入教材



使い方

よく知っている童謡をまずは歌うことから始めよう!
歌うことができたならば音名で楽譜を読んでみる、その音を弾いてみる……と、ひとつひとつ確認しながら少しずつ進め、最後は自分の演奏を人に「喜んでもらう」ことを目指します。

- さいしょチャレンジ (みぎて)
- さいしょチャレンジ (ひだりて)
- ぜんぶチャレンジ (みぎて)
- ぜんぶチャレンジ (ひだりて)
- ぜんぶチャレンジ (りょうて)

より効果的な使い方

歌詞で歌う → 歌詞と手拍子 → ドレミで歌う → 弾く

わかりやすい けんぱん図付き



その曲のはじめの音と使われている音がひと目でわかる!



ポイント

- みんなが知っている童謡を使って練習する
⇒ まわりの人が喜んでくれて、モチベーションアップ!
- 「歌う」ことから始めて右手から左手と、少しずつ着実に進む
⇒ 「できなくてつまらない」にならない!
- 一人でも進められるように、音符の中に「どれみ」が書いてある
⇒ 音符がわからないと手元を見てしまう子も、「どれみ」が読めれば自然と楽譜に目が行き「楽譜を見ながら演奏する」導入につながる

音符が読めるようになったら「どれみ」を塗りつぶして使ってもOK!

一緒に使うと効果的



うたとピアノの絵本 ①みぎて
同じCポジションで進むので、「初めての曲」の読譜練習にピッタリです。
※「②ひだりて」「③りょうて」はミドルCポジションのため、お子さんによっては混乱する可能性があります



プレ こどものスケール・アルペジオ
右手、左手ともに同じ音域なので、同時に進めることができます。歌う⇒弾くという段階を踏む部分も共通しています。

『ピアノチャレ』が終わったら



アキピアノ教本 1
「ぜんぶチャレンジ(りょうて)」で学んだ延長として、スムーズに入れます。



こどものバイエル 上巻
ピアノチャレと同じ音域・指づかいの部分があるので、そこから入ると違和感なく進められます。



メトードローズ・ピアノ教則本
「第2課」には、ピアノチャレと同じ音域・指づかいで弾けるフランスの民謡を収録。

さいしょチャレンジ (みぎて) さいしょチャレンジ (ひだりて) ぜんぶチャレンジ (みぎて) ぜんぶチャレンジ (ひだりて)

さいしょチャレンジ

- 【みぎて】
曲のはじめの部分だけを右手で弾く
- 【ひだりて】
曲のはじめの部分だけを左手で弾く

ぜんぶチャレンジ

- 【みぎて】
曲を全部通して右手で弾き、できたら左手⇒両手(ユニゾン)でも弾いてみる
- 【ひだりて】
曲を全部通して左手で弾き、できたら右手⇒両手(ユニゾン)でも弾いてみる
- 【りょうて】
右手でメロディー、左手で「ン」の伴奏を弾く

ぜんぶチャレンジ (りょうて)

商品ページへ戻る

